



Kagoshima Shinkin Bank

IKI IKI

いきいき2016
Vol.2

人、ふれあい、街、いきいき。

- 地方創生に向けた情報支援
「レザスRESASをみてみよう」
- KEY PERSON いま 未来
～観光指宿の現在と未来について語る～
- 第30回国民文化祭・かごしま2015

人、ふれあい、街、いきいき。
かしん 鹿児島信用金庫





contents

■ 信用金庫の源流	4	「一人は万人のために、万人は一人のために」
■ 地方創生に向けた情報支援	6	リーサス 「RESASをみてみよう」 (RESAS-地域経済分析システム)
■ KEY PERSON	8	観光指宿の <small>いま</small> と <small>みらい</small> について語る
■ 第30回国民文化祭・かごしま2015	12	吹奏楽の祭典 「チェスト行け! 提案事業」への協力
	17	かしんコンサート in みなみホール 吹奏楽さきがけの地 薩摩と鹿児島信用金庫吹奏楽部の歴史
■ Pick Up 企業	18	有限会社プレッソ(霧島市) お客様と歩んで20年。マイナスをプラスに変える。
	20	株式会社井川産業(薩摩郡さつま町) 鹿児島のシラスでものづくり。時代を読み事業拡大。
■ かしん最新 New's	22	湧水町 アーモンドで創る未来
	24	長島町 人の繋がりが生み出す長島町の地方創生。
■ KASHIN REPORT	26	南日本音楽コンクール/第4回かしん旗少年剣道大会 滋賀中央信用金庫、鶴岡信用金庫 来鹿 / 宮崎緑氏 講演会 (かしんハッピー会連合会忘年会)

平成28年1月より 「かしん」のホームページが 新しくなりました

NEW!

白を基調にかしんブルーが映えるように、スッキリとしたデザインです。
情報誌IKIKIも公開しています。是非覗いてみてください☆



見やすく
分かりやすく

webでのローン申込み
とても簡単!



LINE はじめました!



パソコン・スマートフォンで検索!
かしん

URL kashin.co.jp

使いやすいになりました!

今、改めて考える信用金庫の源流

「二人は万人のために、万人は一人のために」

(ライフアイゼン)

5〜10年後のビジネスモデルを
考えるにあたり、心にとめておき
たいのは、信用金庫の源流とその
想いであろう。

信用金庫は協同組合金融機関
であり、いわゆる協同組合組織の
ひとつである。協同組合の歴史を
紐解くと、後世に大きな影響を及
ぼした協同組合の源流はヨーロッパ
にある。イギリスは消費協同組合
すなわち生活協同組合(生協)の
母国であり、ドイツは信用組合の
母国であるといわれる。

まずはイギリスについてふれてみ
たい。イギリスでは18世紀末から
19世紀初頭にかけて、イギリス産
業革命の進展とともに、貧富の差

が大きく拡大し、多数の労働者は
生活必需品(小麦粉など)を購入
する場合であっても、良質な品物
を購入できないばかりか、品質が
悪く高価な品物しか購入できな
い状況に追いやられることが多かつ
た。

そこで、イギリスでは多数の労
働者が生活必需品の一括購入のた
めに結集する経済協同組合が全
国各地に設立された。しかしなが
ら、多くの協同組合は経営の仕組
みが未熟であり、解散に追い込ま
れるケースも少なくはなかった。

こうした先人たちの失敗を踏
まえて、現在のマンチェスターのロッ
チデール(Rochdale)に

「ロッチデール
公正先駆者
組合」が創設
された。この
先駆者組合の
特徴は、持続
的かつ恒久的
な経営が目指
されている点
にあり、のちに

「ロッチデール
原則」として
体系化されて
いくとともに、
後世の手本と
して示される
こととなる。

協同組合金融機関設立のあらまし(日本・欧米)

年	主な出来事	欧米	日本
1760	イギリス産業革命		
1814			二宮尊徳、小田原藩家老服部家で困窮 武士を対象とした金融互助組織「五常講」 を設立
1844		イギリスで「ロッチデール公正先駆者組合」創設	
1848	ドイツ産業革命		
1850		ドイツで、シュルツェンデーリチュが 「市街地信用組合」設立	
1862		ドイツで、ライフアイゼンが「農村信用組合」を設立	
1864		イタリアで、ルツァルティが「庶民銀行」を設立	
1868	明治維新		
1879			二宮尊徳の高弟岡田良一郎が「勸業 資金積立組合(現在の掛川信用金庫)」 を設立
1891			品川弥二郎・平田東助が「信用組合法案」 提出(議会解散により審議未了)
1895		イギリスで「国際協同組合同盟(ICA)」結成	
1900		カナダで、デジャルダンが 「庶民金庫(ケース・ポピュラー)」を設立	
1909		アメリカで、デジャルダンが 「信用組合(クレジット・ユニオン)」を設立	

(備考)シュルツェンデーリチュ著 東信協研究センター訳編『シュルツェの庶民銀行論』
日本経済評論社(1993年)および村本孜「信用金庫論-制度論としての整理」きんざい(2015年)より
信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

つぎに、ドイツについてふれてみた
い。19世紀半ばに産業革命がおき
たドイツにおいては、イギリスと同
様に貧富の格差が広がり、金融機
関にアクセスできるのは富裕層な
どの限られた人々であった。そこで、
手工業者や小規模事業者などの
ためにシュルツェンデーリチュが市街
地信用組合(フォルクスバンク)を設

立した。また、小規模な零細農業
者などのために、ライフアイゼンが
農村信用組合を設立した。

これに対し、日本において、信用
金庫を含む協同組合金融機関とい
う業態の歴史を紐解くと、江戸
時代に二宮尊徳が「五常講」とい
う相互扶助の金融(協同組合)の
仕組みを創設したことに始まると

二郎や平田東助など
によってもたらされた。

信用金庫法の前身で
ある産業組合法の施
行までにシュルツェ
ンデーリチュの案を骨子と
するか、ライフアイゼ
ンの案を骨子とする
かなどさまざまな紆
余曲折があったこと
も認識しておく必要
がある。

ここで改めて考え
ておきたいのは、非常
に興味深いことに、日
欧とも協同組合金融
機関の源流はほぼ同
時期に誕生している。ひるがえって、
今日を鑑みると、日欧ともローマン
シヨックという荒波を乗り越え、新
たな金融環境に立ち向かっている
のである。

その後、明
治維新を経
て、日本へ近
代的な協同
組合思想が、
欧州へ視察に
行った品川弥

5〜10年後のビジネスモデルを
築くにあたり、ライフアイゼンが述
べた自助・自律、自己責任にもとづく
「二人は万人のために、万人は一人の
ために」という連携の理念について、

協同組合金融機関設立の波及(日本・欧米)



(備考)信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

現在の金融環境に活かすよう知
恵をしばるとともに、実現に向け
て「二つ地道に課題を解決してい
くことが重要ではなからうか。

経済門と道徳門(大日本報徳社、掛川市)



(備考)信金中央金庫 地域・中小企業研究所撮影

その後、明
治維新を経
て、日本へ近
代的な協同
組合思想が、
欧州へ視察に
行った品川弥

5〜10年後のビジネスモデルを
築くにあたり、ライフアイゼンが述
べた自助・自律、自己責任にもとづく
「二人は万人のために、万人は一人の
ために」という連携の理念について、

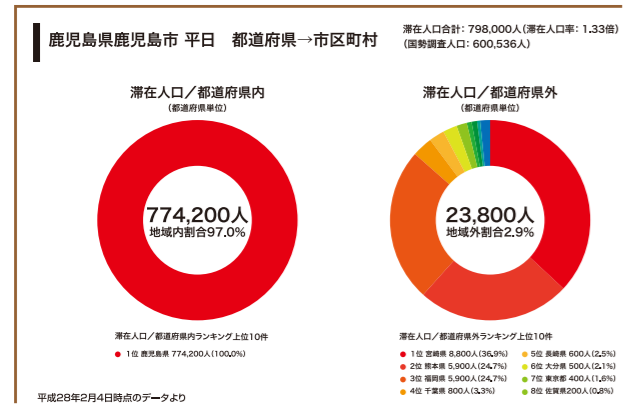
信金中金月報2015.8増刊号より出版
信金中央金庫 地域・中小企業研究所
主任研究員 中西 雅明
参考文献
シュルツェンデーリチュ著 東信協研究セン
ター訳編『シュルツェの庶民銀行論』日本
経済評論社(1993年)
村本孜「信用金庫論-制度論としての整理」
きんざい(2015年)

RESAS できること。

RESAS は、地方自治体の政策立案を支援するためのものであるが、自分の住む“まち”のことを客観的に見る・知ることができる。
RESAS をきっかけに、自分の“まち”について考えてみてはどうだろうか。

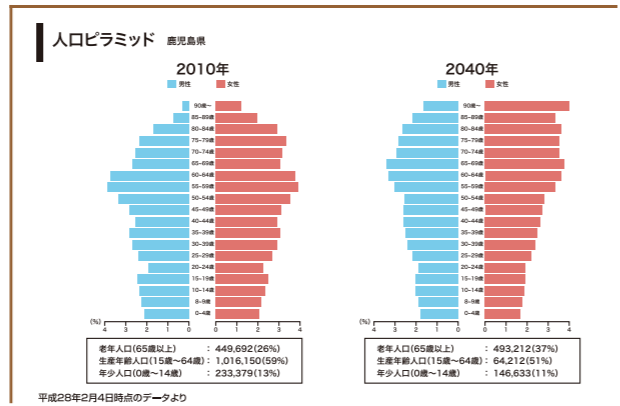
■ 鹿児島の観光人口 MAP 【From-to 分析】

鹿児島市へ観光客がどこから来るのかをあらわしたもの。九州からの観光が多いことがわかる。九州以外では千葉、東京、兵庫。他にも海外からの観光客のデータもある。アジアが多い。実際こうしたデータで見るとわかりやすく、新しい発見もある。



■ 人口マップ【人口構成 / 人口ピラミッド】

鹿児島県の人口ピラミッド。少子高齢と言われているが、2040年の人口ピラミッドを見ると顕著に現れる予想。生産年齢人口も大きく減る。こういった可視化されたデータを元に、各世代に応じた対策を同時に進める必要があるだろう。



RESAS は、直感的・視覚的に操作が可能で、分かりやすく構成されている。様々なデータから自分たちの“まち”を見てみよう。

RESAS の動き。

地域における新しい動きも。企業や個人が RESAS を活用して分析を行なう動きも活発化。まち・ひと・しごと創生本部では、ワークショップの開催等力を入れている。

■ 地方創生☆政策アイデアコンテスト

平成 27 年 12 月 13 日 (日) に開催された「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2015」において鹿児島県伊佐市の大口明光学園高等学校の「“そん出会い、牛さあつなぎもす” プロジェクト」が優秀賞を獲得。若い世代にもこうした客観的データを見ることで自分のまちの現状と課題を認識しやすく、またそのための解決策を考えるという動きが出てきている。



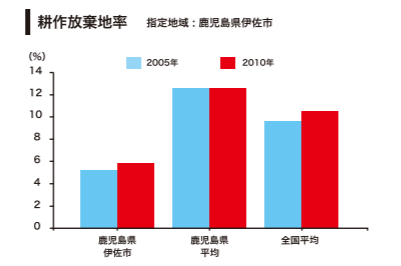
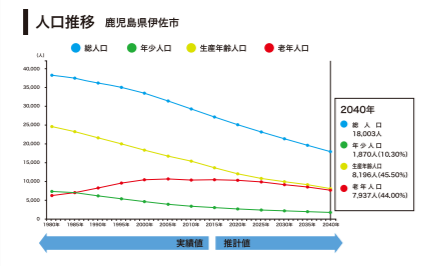
優秀賞受賞 大口明光学園高等学校 チーム高2B

「“そん出会い、牛さあつなぎもす” プロジェクト」【概要】

伊佐市を元気にしたい!

伊佐市の現状を調査。深刻な少子・高齢・過疎化が進んでいた。

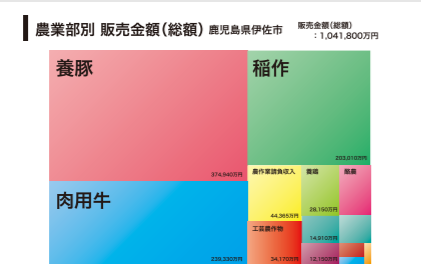
伊佐市の特産品は米。特産品で活性化できないか?



イメージと違った!

伊佐市の農業収益は、40%が養豚。次いで肉用牛24%、稲作20%。

事業可能性を探る。
○養豚一新規経営は困難
○子牛の生産
一養豚より収益性等有益性が高い。



詳細は、<http://expo.nikkeibp.co.jp/bdc/resas/contest2015> (コンテスト公式サイト)

RESAS “リーサス” を見てみよう。

自分たちの住む“まち”のことを知ることができる。
みんなが見れるビッグデータ。

RESAS (リーサス) 一地域経済分析システムとは?

まち・ひと・しごと創生本部事務局では、これまで経済産業省が開発を行ってきた「地域経済分析システム」、いわゆる「ビッグデータを活用した地域経済の見える化システム」を、経済分野に限らず様々なデータを搭載することで、地方自治体の様々な取組みを情報面から支援できるようなシステムへと再構築したもので、効果的な立案、実行、検証 (PDCA) を支援することを目的としてできたものである。

地方創生へ。
ビッグデータを活用した
地域経済の可視化システム

Regional
Economy (and)
Society
Analyzing
System



RESAS より 得られる効果

1 中立性・客観性

データに基づく政策意思決定
経験や勘に基づく、旧来型の意思決定システムから、データや「見える化」された企業間取引等に基づく、より客観的・中立的な政策意思決定システムへの転換が促進される。

2 ベンチマーク 比較

立ち位置の確認、他の自治体と比較

全国平均や他の自治体と比べ、自らの「立ち位置(ランキング)」を確認できる。また、講じた施策の効果を時系列で追いかけることも可能。他の自治体と比較することができる。

3 重点化 効果的支援

「地域中核企業」の候補企業の抽出

地域経済を支える「地域中核企業」の候補企業を、自治体の判断基準で自由に抽出することができる。これにより、より効果的かつ効果的な政策資源の投入が可能となる。

4 スピード

施策のPDCAサイクルの加速化

自治体が講じた施策の効果をより短期間で把握すること(政策評価)ができるため、施策のPDCAサイクルをより加速化することで、より効果的かつ効果的な政策立案につながる。

5 ギャップ

現状と施策のギャップの把握

国・都道府県・市町村の施策を一覧で見える「施策マップ」と一緒に見ることので、地域経済の現状と自治体が講じている施策の「ギャップ」を把握できる。

RESAS の構成

産業マップ	全産業火花図・産業別火花図・企業別火花図 稼ぐ力分析・特許分布図・輸出入火花図 海外への企業進出動向
地域経済循環マップ	地域経済循環図・生産分析・分配分析・支出分析
農林水産業マップ	農業火花図・農産物販売金額・農地分析 農業者分析・林業総収入
観光マップ	From-to 分析・潜在人口率・メッシュ分析 目的地分析・外国人訪問分析・外国人滞在分析 外国人メッシュ分析・外国人消費火花図 外国人消費分析
人口マップ	人口構成・人口増減・人口の自然増減 人口の社会増減・将来人口推計
自治体比較マップ	(経済構造) 企業数・事業所数・従業者数・製造品出荷額等 年間商品販売額・付加価値額・労働生産性 (企業活動) 創業比率・黒字赤字企業比率・経営者平均年齢 (労働環境) 有効求人倍率・一人当たり賃金 (地方財政) 一人当たり地方税・一人当たり市町村住民税法人分 一人当たり固定資産税

※1 国及び地方自治体の職員の「限定メニュー」

※2 2016年4月を目処に公開を予定。



いま 未来
観光指宿の現在と未来について語る

指宿市の考える地方創生とは。

内田 健一郎 氏 UCHIDA KENICHIRO 鹿兒島信用金庫業務執行役員
豊留 悦男 氏 TOYODOME ETSUO 指宿市市長
中村 勝信 氏 NAKAMURA KATSUNOBU 指宿市観光協会会長
今奈良 恵 氏 IMANARA MEGUMI 美塾篤姫

指宿市民の
気持ちを観光へ
向けさせる
ことも大事

豊留市長 やはり、お客様が求めるものと受け入れ側の態勢が噛み合っていない現状があると思います。指宿の観光電車・たまたま箱になかなか乗れない現状、そしてレンタカー型に変わると、砂むし温泉・唐船峡・池田湖・開聞岳を観光した方は、中央駅近辺のビジネスホテルに泊まり、鹿児島食を堪能している。指宿に泊まる形態が大きく変わってきています。

中村会長 指宿の宿泊施設が団体型の二泊二食を想定していて料金も上がるし、個人型に対応するビジネスホテル的な施設になっていない事も減った一つの原因かと思っています。

去年を分析すると、大手旅行代理店からの指宿への送客が前年対比で76%と減っています。去年一年でいえば、世界遺産に鹿児島も登録されましたが長崎軍艦島が一人勝ちです。それとつい先日もありましたが、過去に大型バスの事故があり、運転手を二名から一名に、また北九州から500キロ圏内に外れてしまい、指宿は距離的ハンディと旅行会社の経費負担がかかるのも二つの原因です。去年は桜島・口永良部島の爆発による風評被害で屋久島への観光客が激減しました。その影響で指宿もダメージを受け観光客が激減しています。

内田 指宿に住む女性の立場として、どのようにしたらいいと思われま



今奈良 今、確かに個人客が増えていきます。その方々に聞きますと、鹿児島市に泊まるという方が8割位です。指宿はまた来たい町かというところ、何か足りない所があるのではないのでしょうか。個人で来た時、団体向けの温泉であったり、空いた時間に指宿の街並みを散策する所がないと思います。私が注目している所が、砂むし会館から散策していきける子宝ロードです。その道沿いの空き店舗を整備して、人が集まる場所に変えていけたらと思います。まちづくりは、ひとつくりにだと思つて、まちを活性化させるには、まずは指宿市民の気持ちを観光に向けさせるというのも大事かなと思います。

指宿観光を
取り巻く環境と
宿泊客の
ニーズの変化

内田 本日は、お忙しいところお時間をいただき、本当に有難うございます。つい先日は、某の花マラソンで大変賑わった指宿ですが、今日は指宿市の現状そして未来、それと地域創生・地域活性化について、観光という面からお話をお聞き致しなくお伺い致しました。どうぞよろしくお願い致します。

豊留市長 観光を取り上げてみますと、その形態が大きく変わってきました。40年位前、東洋のハワイ・新婚旅行のメッカとして大きく売りだした時期がありました。南九州のゴルフリゾートとして宮崎・霧島・指宿は新婚さんが多く訪れたものです。それから次に、大型バスを利用した団体旅行型の観光形態になり、今はマイカー型・レンタカー型つまり個人志向に代わってきました。指宿も時代の流れに合わせて、うまく対応してきただと思っております。

最近では他の地域も観光を地域振興の大きな柱にして頑張っています。特に北陸新幹線が開業し、観光客が北陸に大きく流れました。今年は北海道新幹線が開業します。北の観光と、ど

内田 そうですね、観光は旅行会社、旅館、ホテルだけでなく、指宿市民全員が関心を持っていくという気持ちが大変な気がしますね。指宿への観光客を増やすためのお話が出ていますが、指宿への道路等インフラの整備はどうでしょうか。

インフラは
諸刃の剣。特徴を
活かす事が必要。

中村会長 私個人の考えとしては、諸刃の剣だと思っています。

他の観光地であったのですが、インフラが整備され短時間で行けるとなると、日帰り圏内になってしまい観光客が減ってしまった。そういう危険があります。物流では良いが、観光というのは途中の景観を楽しんだり、その場所までの道程もおもてなしだと思えます。都市整備は金太郎飴のように画一的ではいけない、魅力を失っていると思います。昔はそれぞれの地域の特徴があったし、風情があった。そういったことも考えながら進めることが大事だと思います。

内田 その地域独特の雰囲気や資源を活かすために、地方創生として指宿の観光はどうあるべきでしょうか。

差別化を図るかが課題になりま



内田 資料をみますと、指宿市は昨年に比べ宿泊客が減少しておりますが、この現状の原因はどのようなところにあるのでしょうか？

「私も良し。
町も良し。」
長期的な
観光振興を。

豊留市長 地方創生の第二義的な目的というのは、まち・ひと・しごとづくり。指宿のまちを、ここに住んでいる人が、どのように自分の課題としてとらえて、創っていくかが一つ。そこでどう雇用を生み出し、人口を増やしていくか。様々な仕掛けをしないとダメです。やる気のある若者や女性をどう育て支援していくか、それが行政の役割だと思っております。特に私は女性の感性・しなやかさはまちづくりに必要だと思っております。短期的ではなく5年・10年経って、「私も良し。町も良し。」という観光振興を図っていくか、指宿の観光の未来への展望は開けないのです。

中村会長 地域力はとても大事だと思います。論語の「近き者喜ばば、遠き者来たらん」という言葉があります。我々は今まで逆の事をしています。遠く方々に指宿はいいですよと情報発信をしてきました。そうではなくて、まず地元の人を恩恵を受けて喜ぶ、その話を聞いて、指宿を知ってもらおう。たとえば、温泉について地元の人「腰が良くなった」「美容にいい。」と盛り上がるとその噂を聞いて



指宿市市長 豊留 悦男 氏

指宿市立柳田小学校卒。鹿児島大学教育学部卒業後、教職の道を目指す。小学校校長を経て、現職。“変える勇気！変わる勇気を持つ！”をスローガンに、市民の声に耳を傾けながら、指宿の創生へ向けて取り組む。



指宿市観光協会会長 中村 勝信 氏

指宿市観光協会会長。九州新幹線全線開業対策として、指宿ご当地グルメ・スイーツの「温たまらん丼」、「そら豆スイーツ」を開発。指宿のゆるキャラ「たまらん3兄弟」を誕生させたほか、観光列車「指宿のたまて箱」号の取り組み、「指宿ヘルスツーリズム」の構築など、「観光は男女の恋愛と同じ、わくわく感が必要」という信念のもと、日本だけに留まらず、海外にも向かい指宿観光の活性化に取り組んでいる。



美塾篤姫 今奈良 恵 氏

家族温泉・野の香女将。古民家で昼ご飯 梅里 経営。指宿の異業種女性グループ“美塾篤姫”を立ち上げ、指宿を女性目線で盛り上げる事を目標に、乳がんのシンポジウムやアロハ市民歌活動等町の活性化に向けた活動に積極的に取り組む。

中村会長 指宿温泉の弱点は、砂むし温泉に頼ってきた、温泉施設の内風呂がどこにもある様なお風呂しかない。そこで地域間競争に負けているわけです。そこで行政を中心にして、事業があります。たまたま箱温泉の所に地熱を利用した大型スパを作るかもしれないという構想に、非常に期待をしています。

豊留市長 面白いですよ。地方創生の一環として、アイスランドという所に関係者で視察に行きました。アイスランドは温泉に入る人が一番多い所です。地熱、温泉、熱帯果樹それらを総

指宿市民も 指宿の創生に 大きな夢と 期待を持っている。

中村会長 指宿温泉の弱点は、砂むし温泉に頼ってきた、温泉施設の内風呂がどこにもある様なお風呂しかない。そこで地域間競争に負けているわけです。そこで行政を中心にして、事業があります。たまたま箱温泉の所に地熱を利用した大型スパを作るかもしれないという構想に、非常に期待をしています。

中村会長 是非、観光・指宿の為に実現して頂きたいです。

今奈良 本当に楽しみです。

豊留市長 市民も指宿に大きな夢と期待を持っているわけです。指宿市の輝かしい創生を見たいわけです。それに対して行政も答えないと責任を果たしていると言えない訳です。



中村会長 是非、観光・指宿の為に実現して頂きたいです。

今奈良 本当に楽しみです。

豊留市長 市民も指宿に大きな夢と期待を持っているわけです。指宿市の輝かしい創生を見たいわけです。それに対して行政も答えないと責任を果たしていると言えない訳です。

内田 壮大な夢あふれる指宿の町がみえて参りました。是非実現させて頂きたいですね。本日は貴重なお話をお聞かせ頂き有難うございました。



観光客が指宿の温泉はいいらしいとやってくる。そういったことが地元力になる。これこそが地元力だと思うのです。

内田 身近な人が体験した本当の事ですから、まわりを巻き込んでいくわけです。

中村会長 地元が盛り上がるという事は、本物ですから強いんです。

豊留市長 指宿は町や海岸をこうしようという研究会が平成13年から15年位に立ち上がっていました。素晴らしい絵ができています。10年経ってもいけないのでこれはやらなければいけないと思っています。

今奈良 昔、青年会議所で中学生と一緒に指宿の町を市長に提言しようとして取り組んだ時がありました。その絵が緑あふれる絵で偶然、市の絵と似ています。

中村会長 今、温泉に入るだけが目的で終わってしまったらダメですね。楽しめる場所がないのでそこから広がらない。例えば、海岸沿いにカフェがあると男性の方はビールを飲む、女性の方はハーブティー、エステがあるとまた行きたくありません。レジャー性のある遊び心を付け加えていく。錦江湾を眺めながら最高じゃないですか。

今奈良 いいですね！やりましょう！私も協力します！

中村会長 これはそんなに難しいことじゃなくできると思います。恋みくじとか遊び心のある仕掛けをもっと増やしていく事が大事です。観光は口説きの世界だと思いません。キーワードは女性です。女性が行きたくなる所でないといけないのです。

内田 確かに観光地は男性目線で造られたものが多いので、やはり女性の視点からみても皆がいきたくなくなるような観光地づくりが大事ですね。

中村会長 これはそんなに難しいことじゃなくできると思います。恋みくじとか遊び心のある仕掛けをもっと増やしていく事が大事です。観光は口説きの世界だと思いません。キーワードは女性です。女性が行きたくなる所でないといけないのです。

内田 確かに観光地は男性目線で造られたものが多いので、やはり女性の視点からみても皆がいきたくなくなるような観光地づくりが大事ですね。

中村会長 市長にお願いがあありますが、当時、それをみて担当者も話したのですが、イメージを和でいくのか、洋でいくのか、そこをきちんと決めて進めて頂けたらと思います。駅前が湯けむりや街並み、昔ながらの温泉街だなどイメージをもつてもらって整備を進める上で非常にイメージの方向性は大事かと思うのですが。

内田 確かに霧島などに比べて湯けむりをほとんど見えないですね。

豊留市長 地域間競争の時代です。同じことをしても勝てないんです。指宿も色々な計画がありますが、サッカー場など木造で造ってはどうかと、今日も話していたところ。その場所を見たとき、これは指宿とわかるものがないですね。やはり指宿はホテルではなく旅館です。いくら中央駅前の真似をしても、洋でホテルを造っても別府や他の観光地にはかないません。行つてほんとにする指宿にする。街並みや足湯だったり、東屋だったり、指宿の昔を彷彿させるようなまちづくりを売るのがひとつなのかもしれません。

共通する イメージは、 指宿らしい 和なまちづくり。



「チェスト行け！提案事業」への協力

県民総参加の国民文化祭の実現に向け、県内の文化団体・グループ・NPO法人等が自ら企画・事業化した「チェスト行け！提案事業」44事業も同時に開催されました。当金庫は、提案事業の一つである「第5回アロハハワイアンフェスティバルin Kagoshima」に協賛、また、当金庫の吹奏楽部が賛助出演させて頂き、県民総参加による国民文化祭の実現に協力いたしました。今回の「アロハハワイアンフェスティバルin Kagoshima」は27年10月11日・12日の二日間にかけて3つのイベントが開催されました。初日はドルフィンポートかごしまに設置された屋外ステージで、「アロハピクニック」が開催され、そのオープニングを当金庫吹奏楽部がつとめさせていただきました。また、ゆるきゃら「ぐりぶー」も参加、「琉球国祭り太鼓」などのゲストステージもあり、「フラ体験」や「じゃんけん大会」などお客様も参加できるイベントとなっており、多くのお客様が来場されていました。

二日目は市民文化ホールにて「アロハハワイアンフェスティバルin Kagoshima」が開催され、県内のフラダンス愛好者が日ごりの練習の成果を披露されました。スペシャルゲストとしてハワイから来日されたプロダンサーのフラダンスや日本のウクレレのトッププレイヤーの演奏も行われました。その後、サンロイヤルホテルにて「ディナーショー」が開催され、南国雰囲気満載の二日間となりました。また、当金庫職員も二日間、ボランティアスタッフとして参加し、「チェスト行け！提案事業」の一翼を担いました。初めて県内で開催された文化の祭典である国文祭も大きな感動を後に幕を閉じました。色々な形で当金庫も深く関わり、改めて地域の発展には文化が欠かせないものと感じました。これからも地域の文化に深く関わっていきます。



©pref kagoshima greboo

第30回国民文化祭・かごしま2015

「第30回国民文化祭・かごしま2015」が平成27年10月31日から11月15日まで、県内全市町村で開催されました。国民文化祭は、全国各地からアマチュアを中心とした文化団体や愛好者が集まり、各種文化活動の成果を発表・競演・交流する国内最大の文化のイベントです。期間中は県内43全市町村で155ものイベントが開催され、県内外から約4万人が出演し、総参加者数は163万人となり、当金庫もオフィシャルスポンサーとして、国民文化祭事業に積極的に協力しました。



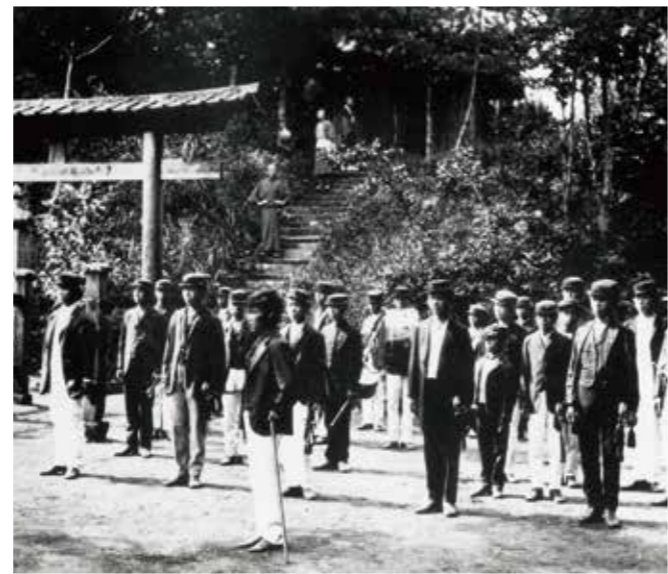
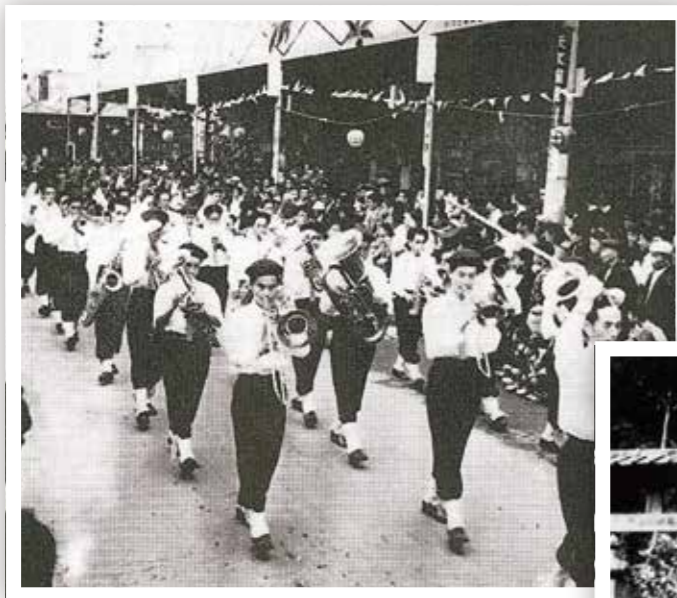
吹奏楽の祭典

平成27年11月3日、国民文化祭事業の中でも、最大規模のイベントである「吹奏楽の祭典」に当金庫吹奏楽部が出演し、「精華女子高等学校吹奏楽部」や「ブリチストン吹奏楽団」などの全国でも有数の吹奏楽の団体と共演しました。また、当日は「おはら祭り」も開催され、当金庫吹奏楽部は第1回目の音楽パレードから連続出演しており、「吹奏楽の祭典」に出演後、今年も音楽パレードへの参加も実現できました。「吹奏楽の祭典」出演の様子は、後日、KKB鹿児島放送で放送された国民文化祭特別番組「響けさつまの調べ～吹奏楽さきかけの地で奏でるハーモニー～」で放映されました。





かしんコンサート in みなみホール



薩摩バンド(横浜開港資料館所蔵)

吹奏楽さきがけの地 薩摩と鹿児島信用金庫吹奏楽部の歴史

日本吹奏楽の始まりと薩摩 (著: 鹿児島市維新ふるさと館特別顧問 福田賢治氏)

明治維新150年「維新のふるさと鹿児島市」より転載

いち早く西洋音楽を導入した薩摩

日本で最初に西洋音楽を導入し、吹奏楽を始めたのは薩摩の軍楽隊でした。薩摩は明治2年、軍学伝習生30人余りを横浜に派遣、イギリスの軍楽隊長ウィリアム・フェントンから西洋音楽を習います。これは、西洋音楽を日本人が本格的に習った始まりでした。幕末には鼓笛隊はありましたが、吹奏楽部はありませんでした。開国により、国家間の儀式で国旗を掲げ、国歌を演

奏するようになりましたが、日本には島津斉彬が発案した「日の丸」が、国旗としての役割を果たしてはいたものの、国歌はありませんでした。そのため薩摩では、早くから音楽の必要性を感じていたといわれます。そこで、明治2年薩摩の歩兵隊長大山巖などが兵を率いて上京した際、イギリス領事館に依頼して軍学鼓笛隊を中心に人選した伝習生に、西洋音楽を習わせました。

平成27年11月7日(土)南日本新聞社みなみホールにて「かしんコンサートinみなみホール～ハワイアンとプラスのひととき～」を開催しました。今回は「国民文化祭・かごしま2015」の開催期間中であり、当金庫も音楽の杜の活動として、国民文化祭を盛り上げるべく、例年開催するチャリティー演奏会とは趣向を変えた形でのコンサートとなりました。

当金庫南栄支店取引先である(株)タイフクの玉利佳久さんによるギター演奏でオープニングを飾っていた。ハワイアンバンドのハワイアンパラダイス、ナレイアロハ、また、舞台転換時のマジックショーなどバラエティーに富んだ内容となりました。

当金庫吹奏楽部は7チームでアンサンブルを披露し、いつものフルバンドとは一味異なる演奏で来場された皆様を楽しませていました。また、舞踊部のナレイガールズもハワイアンバンドの演奏をバックに華やかなフラダンスを披露しました。

当日、来場された皆様から寄せられた募金は、全額かごしま緑の基金へ寄付致しました。ありがとうございました。また、次回は平成28年10月1日、鹿児島市民文化ホールにて、例年通りチャリティー演奏会を開催する予定となっています。





鹿児島信用金庫 吹奏楽部の歴史

鹿児島信用金庫吹奏楽部は昭和10年に創部しました。昭和20年の大空襲で楽器・楽譜全て焼失し一時活動が中断された以外は戦前戦後を通じて吹奏楽での社会貢献活動を継続して行っています。創部当時は出征兵士の見送りや慰問演奏等を数多く行い、終戦後も鹿児島県の戦後復興に大いに貢献したそうです。また、鹿児島市で開催されている「おはら祭」の音楽パレードに第一回から連続出場し、第50回記念「おはら祭」において鹿児島信用金庫の踊り連と共に当金庫吹奏楽部も鹿児島市長より功労賞が授与されています。昭和50年より毎年大型ホールでのチャリティー演奏会を開催しており、慈善会員券の売上全額を社会福祉施設に寄付を続け、今までの寄付金総額は約2千万円を超える額になっています。このような永年の社会貢献活動が企業ボランティアの先駆けとして新聞・テレビで紹介されるようになり、平成4年鹿児島県社会福祉協議会より「民間企業ボラン

ティア活動モデル企業」の指定を受けてから活動の範囲も広がり、平成6年には鹿児島信用金庫の永年の社会貢献活動が認められて鹿児島県知事賞を受賞、更に平成7年には「全国ボランティアフェスティバル」において厚生大臣賞を受賞しました。更に、平成10年に県内小学校3・4年生を対象としたボランティア活動の教材になる企業ボランティアの代表としてビデオに出演し、同じ年に第1回「全国信用金庫社会貢献賞・奨励賞」も受賞しています。当金庫は県内全域に支店があり部員も県内の各支店に勤務していることから、月初めと月末を除く土曜日に当金庫の紫原研修センターに集まって練習を行なっています。対外的な活動は営業店及び外部からの要請を受けて土・日・祝日県内各地で開催されるイベントにパレードやステージ演奏等を行っている他、吹奏楽部独自でも老人ホームや精薄施設等の福祉施設への慰問演奏活動を積極的に行っています。

■ 横浜「妙香寺」を拠点に猛練習

当初は楽譜も読めず、また、楽器もなく竹や鋳物で作った間に合わせの楽器ということもあって上達せず、フェントンからもさかんに叱られました。しかし、薩摩が注文していた楽器が届くと、見違えるように上達したといえます。こうして日本で最初の吹奏楽団が誕生したのでした。かつて、その練習所であった横浜の「妙香寺」の境内には、現在、日本吹奏楽指導者協会によって建立された「日本吹奏楽発祥地」という記念碑がたてられています。また、その横には「国家君が代発祥地」という碑も建てられています。これは、日本最初の「君が代」の曲を、薩摩の軍楽隊が演奏練習したことによるものです。

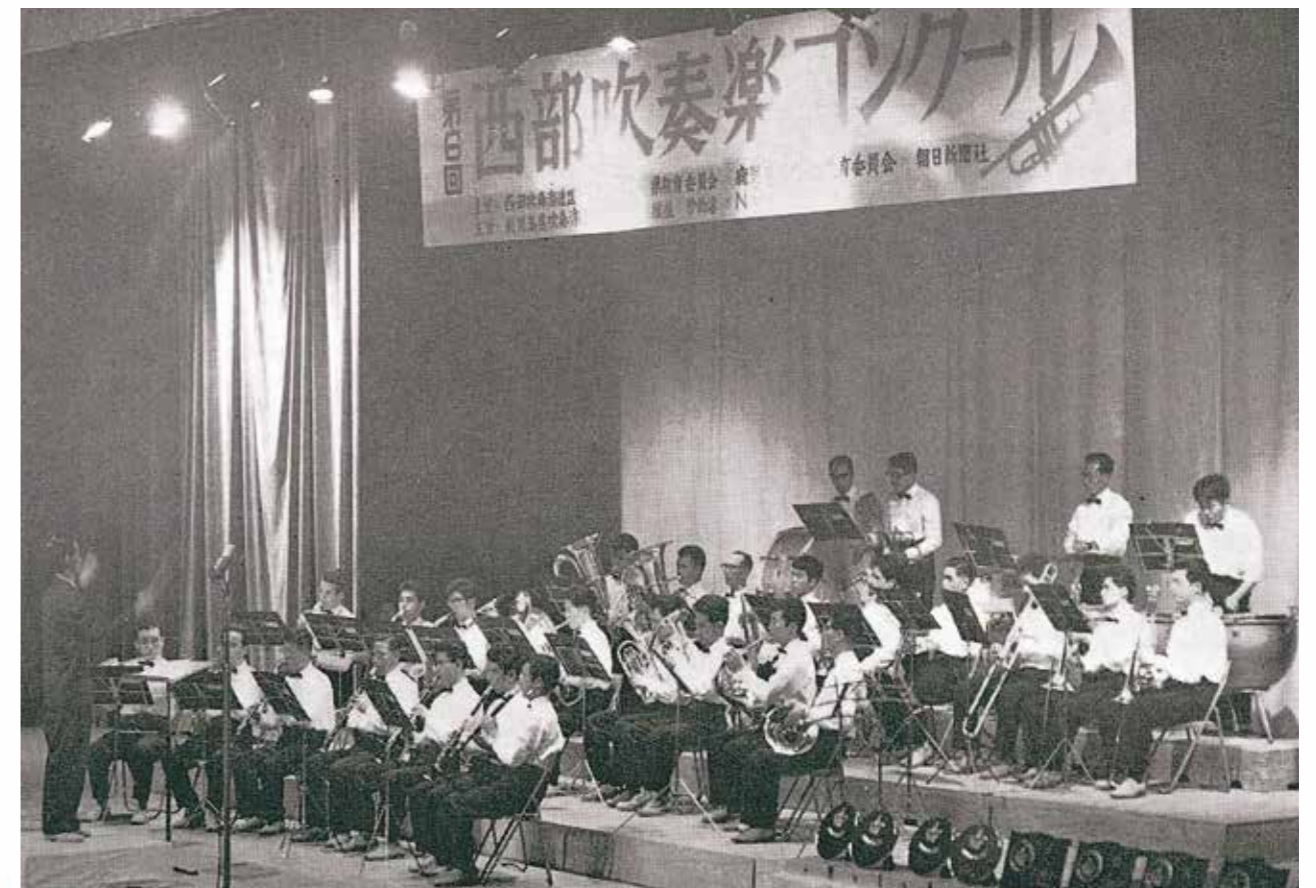
■ 日本最初の「君が代」演奏

明治3年、フェントンが「日本には国歌がないので、歌詞があれば作曲してやる」といったことから、大山巖らが相談し、薩摩琵琶曲の「蓬莱山」の一節から「君が代」の歌詞を選び、フェントンに渡しました。「君が代」は

もともと「古今和歌集」にあり、薩摩では歌曲、箏曲、薩摩琵琶曲、サムライ踊りなど身近に使われていました。フェントンがその歌詞に曲をつけ薩摩の軍楽隊が練習し、向島での調練の際、明治天皇の前で披露しました。これが日本最初の「君が代」で西洋調の曲でした。しかし、当時、西洋音楽を聴きなれない日本人にとっては馴染めなかったため、明治13年、楽曲の改訂委員会がもたれ、歌詞はそのままにして日本調を取り入れた現在の「君が代」に変わりました。

■ 「文化の国」薩摩

当時の指揮者は薩摩の鎌田新平や西謙蔵でした。以後、この伝習生の中から、陸・海軍軍楽隊長など、日本の吹奏楽および西洋音楽を牽引する数々の指導者が生み出されました。薩摩といえば「武の国」というイメージが強いですが、日本近代化の先駆けとなり、世界文化遺産に登録された「集成館事業」をはじめ、音楽、洋画、医学、そして国旗「日の丸」や国歌「君が代」の発祥など、薩摩は「文化の国」であるともいえます。



DATA

設立 平成7年2月2日
 本社 鹿児島県霧島市隼人町西光寺2460-1
 従業員数 30名(平成28年2月29日現在)
 事業内容 Alicecafeアリスカフェ、blecafeブレカフェ・ブラッセリイ Tre Grappoliトレグラッポリ、da cuoreダクオーレ、カフェ・レストランプロデュース



▲ PRESSO SELECT (プレッソセレクト)



▲ Tre Grappoli(トレグラッポリ)



▲ da cuore(ダクオーレ)

鹿児島市内のカフェで修行を重ね、メニューづくり・スタッフの教育・店舗のデザインなどを学び独立。「体にやさしい。心にやさしい。」をコンセプトに、お客様へお料理を提供しています。お客様が大切に過ごされる想い出の時間を最高のおもてなしで接すること。食材やワインは現地を確保、始良・霧島の農家の方々に協力いただき、外国の野菜づくりにも挑戦。安心・安全な本場に美味しいものを使用しています。

当初天文館での出店を考えていましたが、知人を通して既存のお店を引き継ぐ形で「アリスカフェ」をオープン。知らない町でのスタート。開業当初は、売上も思ったようには伸びず毎日試行錯誤の日々。そこで、引き継いだお店の問題点を全て書き出してみると200項目の問題点があり、それをつづつプラスになるように改善していくとすぐに結果が現れ数ヶ月で軌道に乗り始めました。この考え方は、後の事業拡大の際にも活かされています。料理やメニュー作り、サービスはもちろんですが、出店する土地や建物、デザイン、お客様の導線等良いものより多少問題点がある方が伸び代があり、プラスになる可能性

プレッソマインド。
 マイナスをプラスに変えていく。

を秘めている。常に問題点を自分で把握している事が大切。全てが完璧なものより、マイナスをプラスに変えていく手法や考え方が、自分にも合う経営の方法だと思っています。まずはお客様のことを第一に考え、お店はどうあるべきか、その後どう改善し展開していくのか、どうしたらよりお客様に喜んでいただけるだろう。常にコンセプトを忘れず今日もお店をオープンしています。

店舗展開は20年残るように、またあるべき姿を考え、どこが自分のビジネススタイルに合うかを考えます。当社は、事業拡大のための店舗展開ではなく、人材が育ち、次のステージとして店舗を拡大してきました。自然とそういった形になったといえます。会社は、人を育てる場でもあると考えているからです。当社では、週一回セミナーを行いメニュー作りやサービスの向上、問題点の解決を行う場を設けています。真剣にお客様のことを考える場もあります。お客様の「ありがとう」が社員の成長に一番欠かせない要素で、自信にも繋がります。

これから先、事業を継続・承継する

社員に次のステージを。

お店の純度を上げる。

上では経営者と社員、社員同士が様々なことを共有化することが必要だと考えています。料理の技術は常日頃の研鑽で向上しますが、特にお客様へのサービスという面においては難しい。そこで、経営者の勘とセンス、サービス、顧客情報など共有化するプレッソオリジナルのシステムを現在構築中です。システムで共有化し、各社員がそれぞれアウトプットできるようにする。問題解決、リスクヘッジだけでなく、サービスの向上等あらゆる面でスピード感が増し成長も早くなります。組織づくりを力を入れていくことで、人材が育ち、結果お店の純度が上がっていくと考えています。

PRESSO SELECT
 ~ネクストブランド~

本物をお届けしたい。オーナーがこだわり抜いた逸品を新しくオンラインショップで展開していく予定。商品を通してお客様の大切な時間を特別なものにしていただきたいの思いから始まったこのプロジェクト。第一弾は鹿児島県の霧島熟成神話豚を使用した「黒豚の豚骨シチュー」。プレッソセレクトでは、ワンランク上の商品を目指して、食だけでなくスタイルの提案までしていきたい考えです。また、お客様の細かいニーズに合わせたケータリング事業も力を入れていきたいと考えています。これからはプレッソならではのものを形にしていきたいです。

お客様と歩んで20年 マイナスをプラスに変える。

有限会社プレッソ

いつもお客様のために。
 お客様の“ありがとう”が人を育てる会社。



有限会社プレッソ
 代表取締役
 前田 俊弥氏
 Maeda Toshiya

創業して20年。
 霧島、始良方面を中心に4店舗を展開。「体にやさしい。心にやさしい。」がコンセプト。オーナー自身の五感で確かめた安心安全な食材とワイン。提供するの美味しいイタリア料理とお客様の大切な“思い出のひとつ”。

Alice cafe , ble cafe , Tre Grappoli , da cuore
アリスカフェ ブレカフェ トレグラッポリ ダクオーレ

それぞれの店舗には、お客様のシチュエーションを考え展開。お店の名前が異なるのも一店舗一店舗に込められたお客様への確かな“想い”があるからである。

お客様の“ありがとう”が、人を育て、会社が育つ。

走り続けた20年。
 次のステージへ向けて新たな事業「PRESSO SELECT」を展開予定。



Alice cafe (アリスカフェ)
 〒899-5114
 霧島市隼人町西光寺 2460-1
 <鹿児島湾辺空港近く>
 Tel.0995-43-7788
 ●営業時間 11:00~
 ●定休日 年中無休



ble cafe (ブレカフェ・ブラッセリイ)
 〒899-4332
 霧島市国分中央1-3-9 馬場ビル1F
 <JR 国分駅近く>
 Tel.0995-48-7366
 ●営業時間 11:30~
 ●定休日 毎週木曜日



Tre Grappoli (トレグラッポリ)
 〒899-5116
 霧島市隼人町内 1063-1
 <京セラ隼人工場前>
 Tel.0995-42-4143
 ●営業時間
 ・ランチ 11:30~
 ・ディナー 18:00~
 ●定休日 毎週火曜日



da cuore (ダクオーレ)
 〒899-5652
 始良市平松 2869-1
 <青雲会病院横>
 Tel.0995-65-9933
 ●営業時間
 ・ランチ 11:30~
 ・ディナー 18:00~
 ●定休日 毎週月曜日

Facebookでも情報公開中! ※各店舗の詳細はホームページをご覧ください。お問い合わせ下さい。



DATA

設立 昭和57年9月
 本社 鹿児島県薩摩郡さつま町
 田原2271-1
 従業員数 56名(平成28年2月29日現在)
 事業内容 一般機械部品製造及び装置組立
 ・紙保護帽製造シラス素材の研究
 開発・製造販売



▲製品検査



▲シラスバルーン製造装置

また同年、工業技術センターから技術移転して頂いたシラスバルーン製造装置を導入し、更に自動車関連企業での活用を目標とした、高強度・高真球度をもつシラスバルーンの開発に成功し、特許出願を行いました。
 ※この特許は、2012年7月に「高強度、高真球度ガラス質微細中空球の製造方法(5035563号)」

弊社の会長は、以前からシラスやお茶、竹等の地域資源を活用し事業化したいという夢を持っており、常日頃から取引先や知人にその夢を話していました。
 そのような経緯から、2007年に会長の知人を介してシラスバルーンを使用した自動車関連での企画が持ち込まれ、そのことをきっかけにしてシラス事業への取り組みが始まりました。それまで行ってきた業務内容とは全く異なるため、シラスはもとより粉体に関する知識が皆無の状況で開発を始めることになりました。そのため、シラスに関して第一人者である鹿児島県工業技術センターの袖山室長へ協力を依頼し、2008年から県工業技術センターとの共同研究を開始しました。

創業から
夢をのせ事業拡大。

自動車関連の業種での活用を目標として、既存のシラス製品よりも更に高品質な製品を目指しました。シラスは研磨材としても使用されるほど硬く、加工が非常に難しい素材で且つ、天然素材であるため機械部品と異なり、大きさ・重さ・形状などを規格化し、常に一定の品質を持った製品を作ることが非常に困難なものになっていきます。そのため、従来の製品に比べて更に微粒化すること、粒子の大きさを均一にすることを目標として製品開発を行いました。弊社のもつ粒子を細かくするための粉碎技術と粒子の大きさを揃えるための

ものづくりを追求。
オンラインワンを目指す。
 2008年の後半から2009年は、リーマンショックの影響を受け非常に厳しい状況が続きましたが、県の助成金等を活用して研究開発を継続しました。そうして2011年の2月にシラス素材の研究開発と製造を行うためのR&Dセンターが完成(写真2)し、同年の4月からシラス素材の販売を開始しました。

として特許登録されています。(写真1)
 2008年の後半から2009年は、リーマンショックの影響を受け非常に厳しい状況が続きましたが、県の助成金等を活用して研究開発を継続しました。そうして2011年の2月にシラス素材の研究開発と製造を行うためのR&Dセンターが完成(写真2)し、同年の4月からシラス素材の販売を開始しました。

また従来の製品に比べて粒子の大きさが非常に細かく、粒子の大きさが均一になっていることも特徴です。従来のシラス製品は粒子の大きさが100μm(マイクロメートル)を超える製品が殆どで、微粒と呼ばれる製品でも数十μm程の大きさでした。それに対して弊社のシラファインは平均粒径が数μmから最小で数百nm(ナノメートル)の製品となっています。ロット毎のばらつきも少なく常に安定した品質の製品を供給する体制も整えています。
 更に、県内のシラス事業者としては初となるISO9001の認証を2011年7月に取得し、製品の品質管理には特に力を入れています。

選別技術は他社が容易に真似の出来ないものであると考えています。
主力商品 シラファイン
 シラファインの特徴としては、従来のシラス素材に比べて非常に白く、色が白くという事が挙げられます。色が白くという事は様々なものに添加する場合には、色彩等を含め様々なメリットがあると言われています。特に洗顔石鹸などに配合する場合は、白色度の高い製品が好まれる傾向があるようです。
 また従来の製品に比べて粒子の大きさが非常に細かく、粒子の大きさが均一になっていることも特徴です。従来のシラス製品は粒子の大きさが100μm(マイクロメートル)を超える製品が殆どで、微粒と呼ばれる製品でも数十μm程の大きさでした。それに対して弊社のシラファインは平均粒径が数μmから最小で数百nm(ナノメートル)の製品となっています。ロット毎のばらつきも少なく常に安定した品質の製品を供給する体制も整えています。

鹿児島のシラスでものづくり 時代を読み事業拡大

株式会社井川産業

“ものづくり”を徹底的に追及。
ニーズとチャンスは付いてくる。



株式会社井川産業
取締役社長

井川 猛志氏
Igawa Takeshi

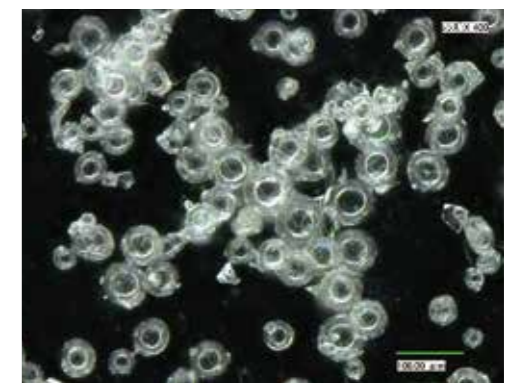
1978年、日本特殊陶業(株)との取引(段ボール組立)を機に創業。また、1983年には日本特殊陶業から技術指導を受け、機械加工治工具生産にも着手。現在、2007年頃から研究開発を開始したシラス事業に取り組んでいる。

“ものづくり”精神は、会社と共に初代から2代目の世代達へと引き継がれ、今尚進化を続けている。

消費者のニーズを捉えて商品づくりをするだけでなく、自社の“夢”を“ものづくり”を通して具現化し事業展開を図る。



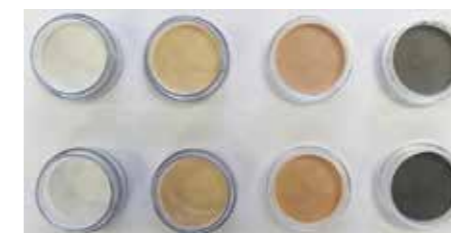
▲【写真2】 R&Dセンター



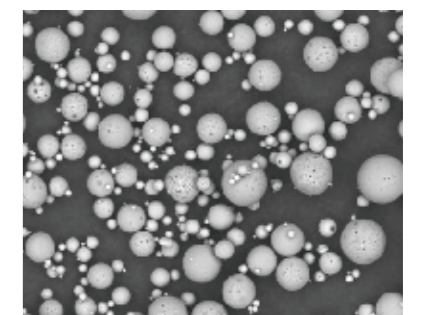
▲【写真1】 特許製品のマイクロスコップ写真(400倍)



▲【写真3】 シラファイン(左)と従来製品(右)の色比較



▲シラファイン カラーバリエーション



▲新製品SEM写真(1000倍)

湧水町 アーモンドで創る未来

アーモンドの花言葉は「希望」

アーモンド栽培で地方創生へ挑戦。

アーモンドの花は美しい
アーモンドの花を見たことがあるだろうか。アーモンドと聞くと実のイメージが強いが花は白と淡いピンクの美しくかわいらしい花を咲かせる。広大な土地に一面アーモンドの花が咲いている。想像しただけでワクワクしないだろうか。

鹿児島県の湧水町。名水百選にも選ばれている霧島山麓丸池湧水にもあるように自然に馴染みの深い町であるが、本年度から国の地方創生の先駆的事業分(タイプ1)の交付対象となり、「アーモンド等果樹推進事業」に取り組む。

湧水町には、年間約10万人の来場者がある「霧島アートの森」があるが、他に魅力あるものが少ないという課題がある。そこで、霧島アートの森へ向かう町有地(約3000坪)にアーモンドの苗を2千本植える計画である。町としては、アーモンドプロジェクトを成功させ、交流人口を増加させていきたい狙いだ。



▲左から企画課課長 福吉 康祐氏・町長 米満 重満氏・副町長 宮園 昭一氏・当金庫業務執行役員 内田 健一郎

アーモンドの花は、3月からと開花が桜に比べて早く、また時期も4月あたりまで長いという特徴がある。計画当初は、「花見」のためのアーモンド栽培を計画。その栽培する過程で育つ実を6次産業化も視野にいれながら計画を進めた。そうすることで、観光としてだけでなく、湧水町の農家の方や、新規事業として奨励できるといって考えている。

「アーモンドの花はとてもきれいなんです。初めて見た時、これは、美しくない。花を見よう。」と思ったんですね。結果ばかり見て求めていると、先がないように思うのです。花がきれいだね、そして、実も良かった。その方が長く続くと思っし、夢があると思うのです。」
町長の米満重満氏は、自宅の庭にアーモンドを植え、花を愛でている一人でもある。

もちろん様々な課題もある。地域住民や地元事業者の理解と協力は不可欠である。また比較的栽培には強いアーモンドだが、日本特有の梅雨の時期や、鹿児島には多い台風被害の懸念など未知の世界への挑戦にはリスクが伴うのは当然である。

「他がやらないこと。できないことに取っこんでいかなければ地方創生にならないと考えています。失敗を恐れては始まらない。成功するまで、続けるということが大切。私達は、情熱を持って挑戦していきます。そして失敗しないという意気込み、産学官との連携という万全の形で臨みます。」と副町長の宮園昭一氏は話す。

花言葉は「希望」

湧水町は今年度、アーモンドの植栽を行い、今後は花の咲く時期にイベント等を計画実施し、湧水町へ人を呼びこんでいくこと。そして、アーモンドの実を特産品として、ナッツやオイル、スイーツなど加工品にも広げていくことで、国産アーモンドとして高付加価値のある商品づくりに挑戦していく。

人を呼び、それにより事業として成り立つ形へと成し得る事で、町に人が残り、町が活性化される。

アーモンドの花言葉は「希望」。
湧水町のアーモンドプロジェクトは、まさに「まち・ひと・しごと」づくりに輝く未来をもたらす希望への第一歩。近い将来美しい花を咲かせ、実を实らせることを期待してやまない。

YUSUICHO
鹿児島県始良郡湧水町



この花はアーモンドの花です
(参考写真です)

INTERVIEW

湧水町を支える商工会。お話を聞いてきました。



湧水町商工会 会長
池上 滝一 氏

地元の経営者に寄り添うこと

商工会の会員も湧水町の地方創生の有識者会議に関わっています。地方となると中小ではなく小規模の事業者が多いという現状があります。全国の商工会の働きかけもあり、一昨年小規模振興基本法が制定されました。商工会としては、会員の現状を把握しながら、そういった国の制度や情報をいち早く伝える事や、商工会の強みを活かした支援を行なっていきたいと思っています。

湧水町は、従事者数をもめても1次産業に従事している経営者が多いので、やはりこの方々が潤って頂く事が重要だと思います。そして2・3次産業との連携を取って行く事が更に湧水町の未来には不可欠と考えています。

商工会の役割は経営者の支援。地元の経営者に寄り添う形で支援して、町の発展に取り組んでいきたいと思っています。

湧水観光・RECOMMEND



幸田の棚田
KOUIDA no TANADA

湧水町の幸田地区にある棚田。「日本の棚田百選」にも選ばれています。見事な石垣からなり、季節により景色を変える棚田を楽しむことができます。



丸池の湧水
MARUIKE no YUSUI

日本名水百選にもなっている丸池は、霧島山麓の水が、澄んだ池の砂底を押し上げてこんこんと湧き出ます。春には、周辺に桜が咲き誇り、夏には蛍も見ることができます。



雲海
UNKAI

加久藤盆地から臨む雲海。空気が冷え込む季節になると、早朝、地表の水分が霧となって立ちのぼり、盆地ならではの壮大な雲海が見られます。



栗野岳温泉 南洲館
KURINODAKE-ONSEN
NANSHUKAN

西郷隆盛も愛した秘湯がある温泉宿。さらに、栗野岳の中腹に白煙を噴き続けている「八幡大地獄」と呼ばれる九州一の噴気孔がある。また、温泉で蒸した「鶏の地獄蒸し」は、ここの名物料理です。

人の繋がりが生み出す 長島町の地方創生。



「ひと」が繋ぐ地方創生

黒之瀬戸大橋。薄いブルー色の鋼トラス造で架けられた橋を抜けると長島町はある。人口約11,000人。ぶりの養殖で売上が約100億以上あり、世界一という町である。今この長島町が日本全国から注目されている。

長島町の地方創生事業ばかりに目がいきってしまうが、その背景には「人と人の繋がり」がある。国に一番最初に人材支援制度を提案した井上貴至長島町副町長。そして、いち早く最初にその制度に手を挙げた川添健長島町町長。二人の良き理解者で地方創生戦略委員でもある入口良美氏。

長島町で出会った人と人の繋がりが生む地方創生への想いは、未来へ向かって大きく動いている。



写真 左：井上貴至副町長 右：入口良美社長

「一番最初に、地方創生人材支援制度に手を挙げた。」

長島町町長

川添 健

氏



▲平成28年2月23日
鹿児島県町村会会長に就任

実現させて行く事が大切

長島町は、常にまちづくり事業に積極的であり、そして実現させていく。

「各市町村や団体には、方が二に備え基金が設立されています。長島町も基金がありますが、そのまま預金されてしまいました。金利も低い中、株等の投資リスクのある運用は、安全面からも難しい。そこで、長島町は土地はありますので、太陽光事業を直営で運営しています。これは全国的にも例がないと思います。」

川添町長は、地方創生人材支援制度にいち早く応募した。元役場職員出身である町長は、総務省との繋がりが重要であると思っており、総務省出身者に限定して要望したのだと言った。

井上氏が着任して、感じた変化は、全国レベルでのPR力、スピード感、感性、発想、外部への働きかけ。

これは、長島町の知名度の向上だけでなく、職員の意識改革へもい影響になっているようだ。

「今」を持ちこたえれば

未来は明るい。

「今」実行することが大切。

「漁業も餌代が高く、価格も不安定なところがあり、厳しい現状もあります。現在国や県も力を入れてくれていますが、鯛の海外への輸出货量も増えてきています。間違いなく良くなるが現場の「今」を持ちこたえなければならぬ。」

未来へ希望はある。こんな時勢だからこそ町を支える役場として、様々な事業へ率先して挑戦していく。その姿勢が、長島町に暮らす人々や長島町の経済を担う企業へも次第に浸透してきているのかもしれない。

「一番最初に、地方創生人材支援制度を提案。」

長島町副町長

井上 貴至

氏



■井上副町長のブログ

「地域づくりは楽しい。地域のミツバチ、井上貴至の元気が出るブログ」
副町長は、長島町を「長島大陸」と呼んでいる。長島町の魅力や地方創生について、日々情報発信中。副町長の思いが詰まったブログになっている。

地方に必要なのは
中と外を繋ぐ人材。

「今地方に必要なのは、お金じゃなくて人材なんです。人材といっても中と外を繋ぐ、方向性を指す人材が必要なんです。」
そういった考えから国に提案をしたという。実際、井上副町長は着任後、官公庁に限らず、様々な分野の人を長島町に招くなど連携を強化している。様々な政策や取り組みが実現していくのには、こういった考えが根底にあり実行しているからなのだろう。

人と人を繋ぐ

ミツバチ。

新しい花が咲く。

「地域には才能溢れる方もたくさんいらっしゃいますけど、地元業界のことしか知らない方もいらっしゃって。そこではなくて、僕が出会った素敵な人同士を繋げていくと、新しい花が咲くんじゃないかと思ってるんです。」
副町長が描く地方創生には、「ひと」が欠かせない。出会う人全てが共に未来を描く主役であり同志なのである。

鯛で有名な長島町だが、副町長の名刺には、鯛だけじゃない長島町とある。これからも新たな魅力を発信し、政策を実行していく長島町が楽しみである。



「まこち」
真東風ぶりで6次化。

夢、長島町にのせて積極的に事業展開。

真東風ぶりは、鹿児島産の杜仲茶を餌に使用したブランド鯛。杜仲茶に含まれるポリフェノールが酸化を防ぐのと同時に余分な脂肪が付きにくくなる。約25年前から研究し開発したブランド鯛である。

元々養殖、生鮮一本で事業を行っていたが、2009・2010年連続で発生した赤潮被害を受け、加工会社(株)夢ながしまを設立。6次産業化へ取り組み始める。

また地方創生戦略委員でもある入口社長は、事業をおこなう経営者としても、前向きに事業展開している。

長島町も取り組んでいる太陽光発電事業も率先して行い、情報提供やアドバイスを行なうなど自ら行動を示してきた。

受け継ぎ。

引き継いでいく。

「現在の長島町のいい流れを、副町長の任期が終わっても持続させていく事が大切だと考えています。私だけでなく、若い世代にもどんどん参加してもらって、新しい事業を生み出していき、挑戦していくこと。長島町が長島町であるために地元企業として又人の町民として挑戦していきたいと思えます。」

入口社長の情熱も、また人を動かしていくに違いなく。

「一番最初に、地方創生に協力した二人の良き理解者。」

代表取締役

入口 良美

氏

株式会社 美水
株式会社 夢ながしま

夢ながしま



iriguchi yoshimi

滋賀中央信用金庫、 鶴岡信用金庫 来鹿

本年は、信用金庫業界のネットワークを活用した旅行が実施され、鹿児島では、「本物の旅かごしま」としてモデルコースを信金中央金庫が中心となって作成しており、全国の信用金庫へ情報を発信しています。このネットワークを活用し、鹿児島には10月8日に滋賀中央信金、11月10日・18日には鶴岡信金のお客様が来鹿されました。



滋賀中央信金は「合併10周年記念旅行」として、豪華客船「飛鳥II」にて740名のお客様が来られ、県内の観光をされました。当日は、受入協議会主催による歓迎セレモニーが実施され、当金庫も信用金庫業界のおもてなしとして、横断幕を用意するなど、鹿相信、奄美信用金庫と連携し歓迎セレモニーに協力しました。

鶴岡信金は「兄弟都市鹿児島南州神社が結ぶご縁旅行」として、山形より飛行機をチャーターし2回に分けて総数150名の方々が来鹿されました。当日は南州神社にて横断幕を用意して出迎え、南州神社鶴岡宮司による、庄内藩士のお墓の説明や、薩摩藩と庄内藩のつながりの説明を行っていただきました。また、翌日は兄弟都市であることから、鶴岡市の副市長が鹿児島市長を表敬訪問されたり、当金庫取引先の焼酎工場の見学も実施されました。

信金中央金庫が中心に各県での旅行モデルコースを作成されており、今後も他県信金との交流が盛んになっていくと思われます。



宮崎緑氏 講演会 (かしんハッピー会連合会忘年会)

平成27年11月27日かしんハッピー会連合会忘年会が開催され、約600名の方に出席いただきました。今回は、奄美パーク園長、田中一村記念美術館館長で、千葉商科大学教授の宮崎緑先生をお迎えして、「鹿児島県から未来を拓く」と題して講演をいただきました。

宮崎先生は、NHK報道局「ニュースセンター9時」で初の女性ニュースキャスターをつとめた方でもあり、講演では、国際情勢を中心に地域特性が世界を動かしていく時代の波を説明し、心と心をつなぐ文化、大切なものを後世につなぐ意識を持って、地元を皆で盛り上げていってほしいとの話をされました。

大島紬を召されて、誰とでも気さくにお話をされる宮崎先生の人柄がハッピー会の皆様に大好評で、懇親会では一緒に写真を撮られるなど大盛況でした。



これからも各界の著名で人気のある講師陣をお迎えして開催します。なお、5月の総会では1月3日放送の住友グループを描いたスペシャルドラマ「百年の計、我にあり」の主人公役であり、大河ドラマ「真田丸」で武田の側近「穴山梅雪」役の榎木孝明氏を予定しています。ご期待ください。

南日本音楽コンクール

平成27年12月6日、当金庫が特別協賛している「第64回南日本音楽コンクール」のグランプリ選考会および表彰式が開催されました。

南日本音楽コンクールの歴史は半世紀以上におよび、ピアノ、管打楽、弦楽、木管、金管、声楽、作曲の7部門に対して参加者は小学生から大学生・一般まで幅広く、県内の若手音楽家の登竜門として大きな期待を担っており、当金庫は鹿児島の音楽文化発展のため、本コンクールに特別協賛として協力しています。

今回は本選に7部門108名が出場し、優秀賞が12名、入選49名が選ばれ、鹿児島信用金庫賞は木管部門から出場した大学生の方が受賞されました。



第4回かしん旗少年剣道大会

第4回かしん旗少年剣道大会が平成27年11月15日、伊集院町総合体育館で行われました。小学生を中心に昨年を上回る63チーム、380名の少年剣士が集い、真剣なまなざしで元気いっぱい試合を繰り広げました。

4年の間に大きな大会と育ってきており、「かしん旗」という冠杯として県下一円に浸透してきています。これからも当金庫剣道部員11名と審判員50名のご協力を得ながら、さらに発展していきます。

また、今年もかしんjrチームとして、当金庫職員の子供さん達も出場し、大健闘していました。当金庫の剣道部は、昭和62年6月に誕生しており、今までに県内をはじめ九



州、全日本の大会出場や県内各地域の行事に参加しております。

これからも剣道を通じて、地域貢献や青少年の健全育成の一助となるよう努めていきたいと思っております。